

国民健康保険被保険者の健康増進							
KPI (指標)	特定健診受診率						
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	40.0%	45.0%	50.0%	50.0%	55.0%	60.0%
	実績値	30.5%	31.5%	25.9%	30.3%	31.3%	26.9% (※)

◇主要10事業

事業名	令和5年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
1. 特定健診未受診者対策事業	●特定健診の受診者数は3,071人（前年度比-483人）で、受診率26.9％（前年度比-4.4ポイント）であった。 【受診者の内訳】 ◇保健センターでの集団健診：1,926人（前年度比-310人） ◇医療機関での個別健診：769人(前年度比-224人) ◇新鳥飼公民館での出張集団健診受診：112人(前年度比+8人) ◇別府コミュニティセンターでの出張集団健診受診者：104人（前年度比+19人） ◇人間ドック・職場健診受診者：160人（前年度比-3人） ●未受診者対策としては、11,270件に架電し476人の予約につなげた。 ●ナッジ理論に基づき、対象者の特性に合わせて行動変容を促す勧奨通知を2回（各5,000通）送付し、1,859人の受診につなげた。 （※）各数値は速報値（確定時期：11月）	●新型コロナウイルス感染症拡大時に減少した特定健診の受診率は、令和3年度以降回復傾向にあるものの、目標値である60%には届いていないため、受診率向上につながる取組等を検討していく必要がある。 ●出張集団健診は、一定のニーズがあるため引き続き実施し、実施場所の拡充などを検討する。
国保年金課		

事業名	令和5年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
2. 特定保健指導（未利用者対策事業）	●特定保健指導については、対象者460人の内、210人（45.7％）に電話や面談等で実施した。（動機付支援160人・積極的支援50人） ●健診当日の面談（プレ指導）を実施し160人が参加した。 ●健診後に健診結果説明会を30日開催し、102人が参加した。 ●面談（プレ指導）及び健診結果説明会の不参加者には随時電話で利用勧奨した。	●特定保健指導実施率は府下において上位で推移しており、引き続き健診時の面談（プレ指導）を行うことで現在の実施率を維持していく。
国保年金課		

事業名	令和5年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
3. 若年者健診・保健指導（早期介入保健指導事業）	●若年者健診の受診者は124人で、受診率は4.1％（前年度比-0.5ポイント）であった。 ●BMI値が18.5未満または25以上の者に対して健診当日に実施する保健指導の該当者は38人であった。 ●若年者を対象とした簡易な血液検査事業（スマホdeドック）の申込率は7.8％（前年度比-5.4ポイント）であった。	●若年者健診受診率の増加を図るため、保険証一括更新時の受診勧奨通知の同封の他、よりよい受診勧奨の方法を検討する。 ●簡易な血液検査事業（スマホdeドック）については対象年齢層の拡充を検討する。
国保年金課		

事業名	令和5年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
4. 非肥満高血圧高値者・血糖高値者受診勧奨推進事業	●血圧高値者に対しては、健診当日に会場でリーフレットを手渡ししながら受診勧奨を行い、血糖高値者に対しては、健診結果通知に受診勧奨リーフレットを同封した。 ●対象者55人（高血圧34人、高血糖21人）に受診勧奨をした結果、34人が医療機関を受診し、受診率は61.8％（前年度比+4.9ポイント）となった。	●医療機関受診率の増加を図るため、配布するリーフレットについて、よりよい内容を検討する。 ●電話がつかないケースが多いため、健診当日における医療機関受診の啓発を強化する手法を検討する。
国保年金課		

事業名	令和5年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
5. ハイリスクアプローチ	●血圧は健診当日に対面で受診勧奨し、必要に応じて医療機関宛ての紹介状を発行し、その後の受診状況を確認した。 ●血糖・脂質は電話・面談・訪問・文書等で受診勧奨と生活習慣についての保健指導を実施した。 ●前年度ハイリスク対象者で医療機関受診のない者に対し、健診当日に医師から受診勧奨を行った。 ●保健指導対象者73人全員に指導を実施し、実施率は100%であった。	●受診勧奨ではナッジの活用や経年経過データの書かれた文書を送付し、手元に届く時期に電話や訪問で受診勧奨を行っていく。 ●訪問を行う際は、ハイリスク対象者の年齢や健診を受けた曜日を参考に日程を調整する。
保健福祉課		

国民健康保険被保険者の健康増進							
KPI (指標)	特定健診受診率						
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	40.0%	45.0%	50.0%	50.0%	55.0%	60.0%
	実績値	30.5%	31.5%	25.9%	30.3%	31.3%	26.9% (※)

事業名	令和5年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
6. 糖尿病予防教室	●昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった集客型の市民公開講座を実施し、286人が参加した。糖尿病をはじめとした生活習慣病が発症の原因となる脳卒中・心筋梗塞について兆候や受診の必要性についての講話を行い、市民の知識を深めることに貢献できた。	●集客型の健康教室等を実施する際は、若年者から高齢者まで、幅広い世代の人が参加できる日程や会場を検討する。
保健福祉課		

事業名	令和5年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
7. 糖尿病性腎症重症化予防事業 (糖尿病性腎症重症化予防栄養指導事業)	●ハイリスクアプローチである保健指導および栄養指導に加えて、ポピュレーションアプローチである受診勧奨も実施することで、事業カバー率の目標達成につながった。 ●保健指導の実施者は14人、受診勧奨の実施者は91人であった。 ●栄養指導事業において、実施日を複数設けることで、参加しやすい環境づくりを行った。 ●事業実施者において、新規人工透析移行者は0人であった。	●対象者抽出条件の見直しを図り、より必要性の高い人に対する保健指導の実施を目指す。
国保年金課		

事業名	令和5年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
8. CKD（慢性腎不全）対策	●電話・面談・訪問・文書等で受診勧奨と生活習慣についての保健指導を実施し、その後の受診状況等を電話やレセプトで確認した。 ●前年度ハイリスク対象者で医療機関受診のない者に対し、健診当日に医師から受診勧奨を行った。	●受診勧奨では医学的な情報だけでなく統計的なデータも用いて、受診の必要性や未受診のリスク・デメリットを説明していく。 ●訪問を行う際は、ハイリスク対象者の年齢や健診を受けた曜日を参考に日程を調整する。
保健福祉課		

事業名	令和5年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
9. 各種がん検診事業	●がん検診受診率向上のため集団検診にて予約者数が少ない時期に合わせて、年1回送付していた未受診勧奨はがきを7月と9月の2回に分けて送付した。 ●検診受診率向上のため、未受診勧奨案内に圧着ハガキを使用した。 ●市内小中学校を通じて保護者向けのがん検診案内チラシを配布した。 ●令和5年8月より乳がん検診の実施医療機関を1医療機関追加した。 ●大阪府の事業である大阪府大腸がん検診受診促進事業を活用し、協会けんぽ被扶養者の特定健診に合わせて40代の被扶養者へ市の大腸がん検診を同日実施した。	●検診機会の更なる拡大のため委託医療機関と調整する。 ●精密検査対象者への受診勧奨をタイムリーに行い、早期受診・早期治療につなげる。 ●大阪府と引き続き連携し、協会けんぽの特定健診の日程に合わせて、がん検診を組合わせて実施できるよう調整する。
保健福祉課		

事業名	令和5年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
10. 医療費通知および後発 (ジェネリック) 差額通知事業	●大阪府の共通基準に沿って奇数月に医療費通知を49,402件送付した。 ●後発（ジェネリック）医薬品差額通知を1,808件送付し、利用率は83.8%（前年度比+1.7ポイント）であった。	●後発（ジェネリック）医薬品への切り替えは、薬剤師から被保険者へ直接声掛けをすることが非常に有効であるため、今後も市内薬局を中心に連携を図りながら本事業を推進する。
国保年金課		

◇その他の保健事業

事業名	令和5年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
高齢者の保健事業と介護予防の 一体的実施	●ハイリスクアプローチとしては、健康状態不明者27人全員に対して文書・電話・訪問のいずれかの手段にて介入し、それぞれ健診受診や医療受診、介護認定等につながった。 ●ポピュレーションアプローチとしては、5箇所の通いの場にて87人にアンケート調査を実施し、フレイルへの認知度を測った。	●ハイリスク・ポピュレーションを織り交ぜたアプローチを継続して実施する。 ●内容のわかりやすさや読みやすい文字の大きさなど対象である年齢層を意識した情報発信を検討する。
国保年金課、保健福祉課、高齢介護課		

事業名	令和5年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
服薬適正化推進事業	●年薬剤数6剤以上、処方日数15日以上、複数医療機関での重複処方の服薬を基本として、対象者28人にポリファーマシー(多剤併用)のリスクについて記載したチラシを送付し、薬局への相談を促した。	●今後もKDBシステムを活用して対象者抽出を行い、ポリファーマシーのリスクについて通知する。
国保年金課		